



400倍ファイバ스코ープ G0306B

G0306A/B VIPシリーズサポート機種

メインフレーム	G0306B (400倍固定タイプ)	G0306A (400倍固定タイプ) *旧タイプ
ネットワークマスタ プロ/フレックス MT1x00 シリーズ		
ネットワークマスタ プロ MT1000A	Ver.5.00以上	Ver.1.00以上
ネットワークマスタフレックス MT1100A	Ver.5.00以上	Ver.1.00以上
ネットワークマスタ MT9090A シリーズ		
ファイバメンテナンススタ MU909014x/15x	Ver.2.17以上	Ver.2.13以上
アクセスマスタ MT9082x2 シリーズ		
アクセスマスタ MT9082x2 シリーズ ^{*1}	Ver.1.05以上 ^{*1} (Ver.1.11以上 ^{*1})	Ver.1.05以上 (Ver.1.11以上 ^{*1})
Others		
PC解析用ソフトウェア MX900030A ^{*2}	Ver.1.02以上	Ver.1.00以上

各接続機種とも、IEC61300-3-35規格に準拠した合格/不合格判定機能に対応しています。

*1: Ver.1.11以上で、OK/NG解析判定機能に対応しています。

(Ver.1.05～v1.10は、合格/不合格解析判定機能に対応していません。光ファイバの端面表示のみになります。)

*2: G0306A/B用ソフトウェア (Windows XP、Windows 7(32bit, 64bit)、Windows 8(32bit, 64bit)対応)

MX900030Aはアンリツウェブサイトからダウンロードできます。

400倍ファイバ스코ープ G0306B

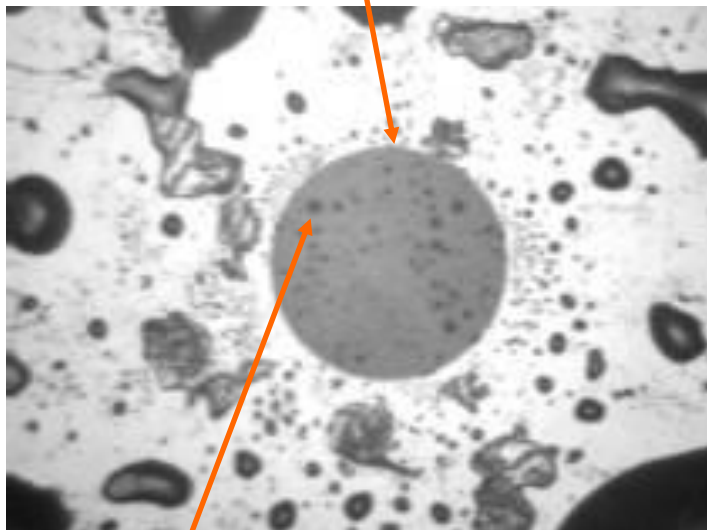
光ファイバのフェルール端面のキズや汚れが原因で、伝送品質に影響を与えることは多いと言われています。ファイバ스코ープ G0306Bは、ネットワークマスタ MT1000A/MT1100A、アクセスマスタ MT9082x2 シリーズ、ネットワークマスタ MT9090Aシリーズや、PCに接続してフェルール端面の状態を映し出します。フェルール端面の清掃状態や、キズによるコネクタの交換を判断するのに有効な機能です。



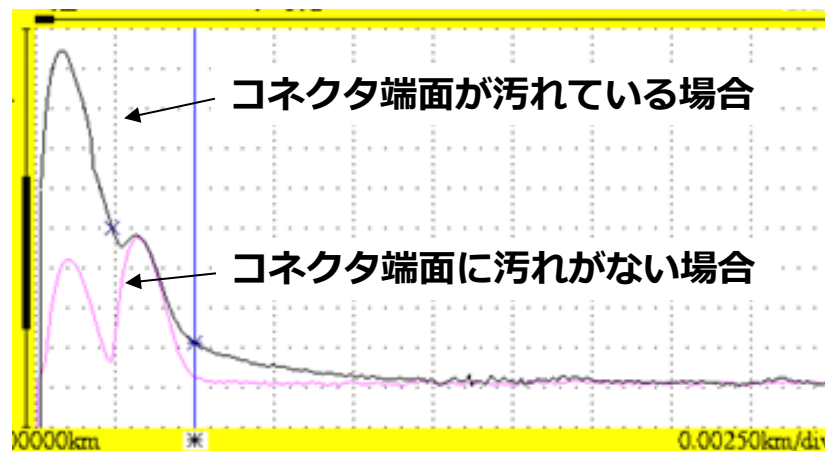
コネクタ端面が汚れていると・・・

コネクタ端面が汚れていると、反射が大きくなる傾向があります。
クリーナで清掃することにより、良好な接続状態を保つことができます。

光ファイバクラッド



油分、チリ

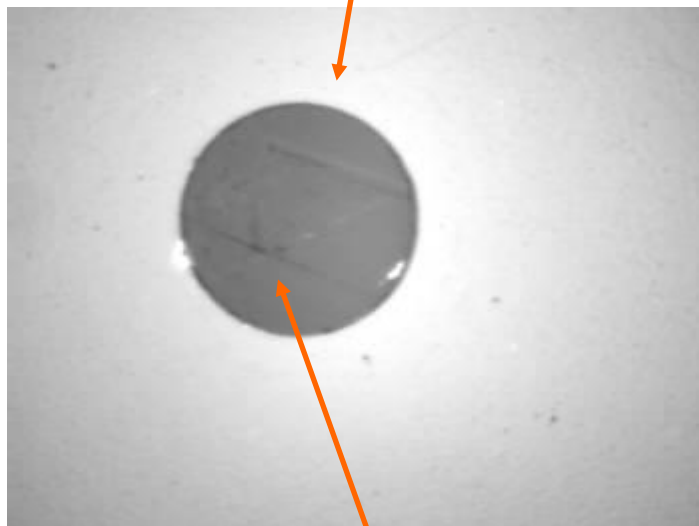


OTDRの出力ポート接続による検証

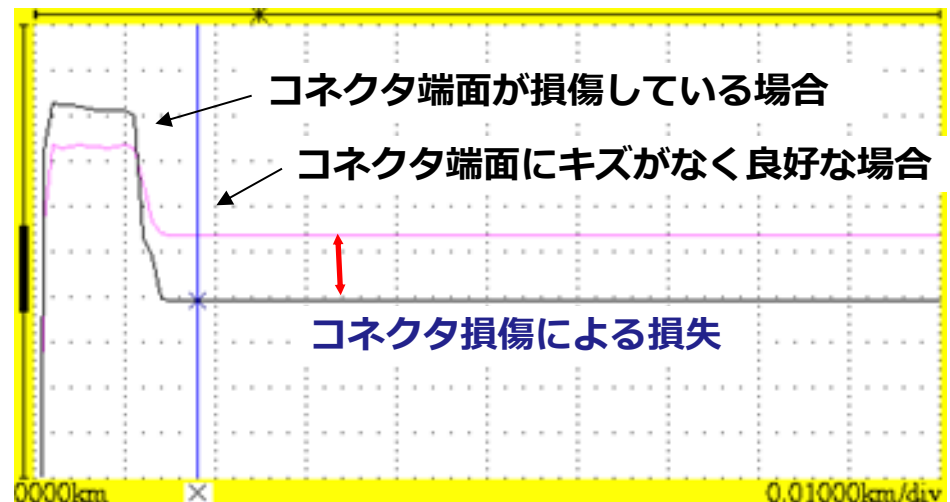
コネクタ端面にキズが付いていると・・・

コネクタ端面にキズがあると、反射の他に接続損失が増大する傾向があります。キズによる反射や損失の影響が大きい場合、コネクタポートの交換が必要となります。

光ファイバクラッド



コア付近のキズ



OTDRの出力ポート接続による検証

400倍ファイバスコープ G0306B 対応機器

● ネットワークマスタプロ/フレックス MT1000A/MT1100A



+



合格/不合格判定機能含む



● アクセスマスタ MT9082x2



+



合格/不合格判定機能含む



NEW!
合格/不合格判定

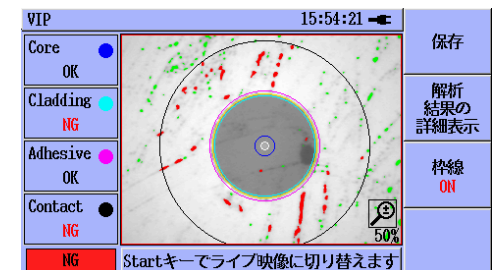
● MT9090A MU909014/15 ファイバメンテナンススタ



+



合格/不合格判定機能含む



400倍ファイバ스코ープ G0306B 構成



G0306B 400倍ファイバ스코ープ (下記(1)~(4)の製品が標準添付されます)

- (1) スタンダードソフトケース
標準添付されるソフトケースです。
- (2) ファイバ스코ープ
- (3) 測定コネクタ対応チップ
測定するコネクタタイプに応じて交換します
(7種)
- (4) 取扱説明書 (紙)



- 400倍固定型
- USB2.0/1.1サポート
- 解析ドライバのインストール不要
- 合格/不合格自動判定機能
- コネクタ形状に合わせた交換型コネクタチップ

400倍ファイバ스코ープ G0306B 添付品



ファイバ스코ープの先端には、接続するコネクタ(アダプタ)形状に合ったチップを接続します。
7種類のチップが標準添付されています。



1.25mm
PC ユニバーサル型



2.5mm
PC ユニバーサル型



2.5mm
APC ユニバーサル型



1.25mm
PC バルク型(LC)



2.5mm
PC バルク型(FC)

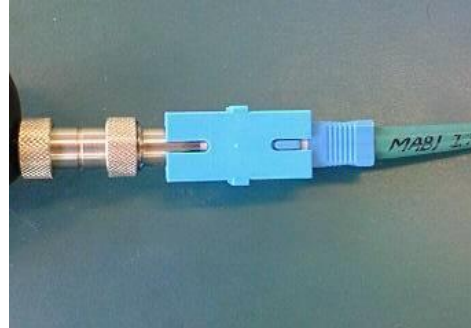


2.5mm
PC バルク型(SC)



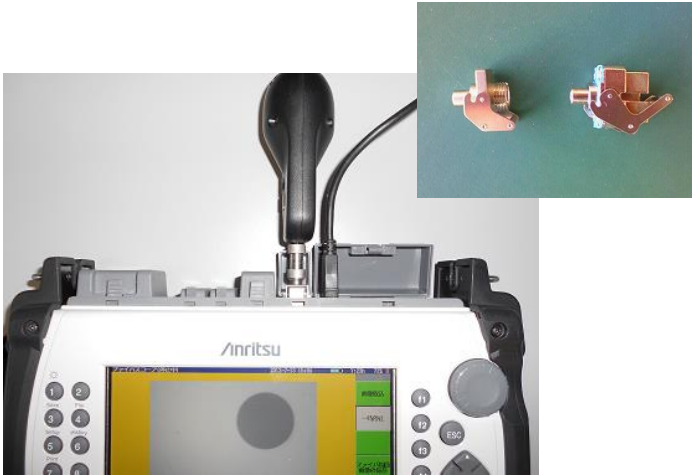
2.5mm
APC バルク型(SC)

チップ接続イメージ



●バルク型対応チップ

図のような、コネクタアダプタを介して接続されるファイバのフェルール端面を確認できます。



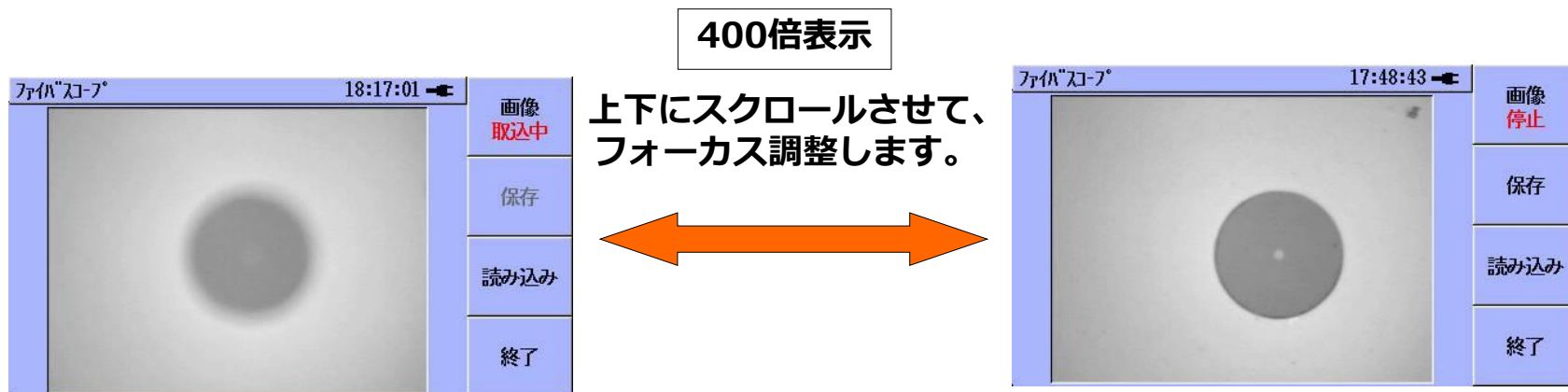
OTDR出力ポートのフェルール端面に接続



●ユニバーサル型対応チップ

図のように、フェルールを直接差し込んで検査する場合、ユニバーサルタイプのチップを使用します。

400倍ファイバ스코ープ G0306Bの基本操作



倍率は400倍固定になります。

ネットワーク マスタ MT1000A/MT1100A シリーズ測定例 (1/4)



1.ファイバスコープのUSB端子を
MT1000A/MT1100AシリーズのUSBポート
に接続

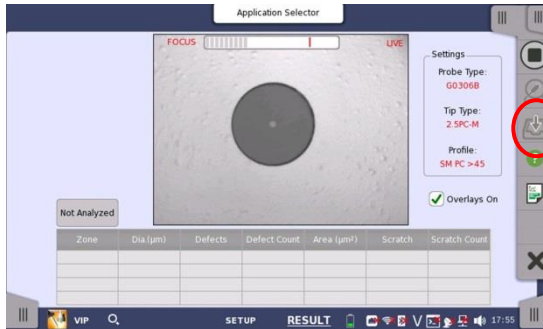
2.電源を入れます。ユーティリティ
メニューの画面から「ファイバス
コープ」を選択 してください。

※事前に、接続するコネクタアダプタや
フェルルタイプに応じたチップを選択
してください。

:*写真はMT1000A

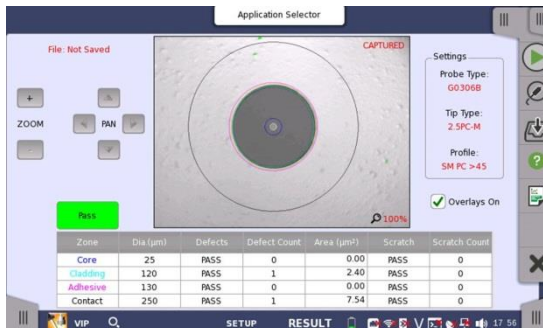
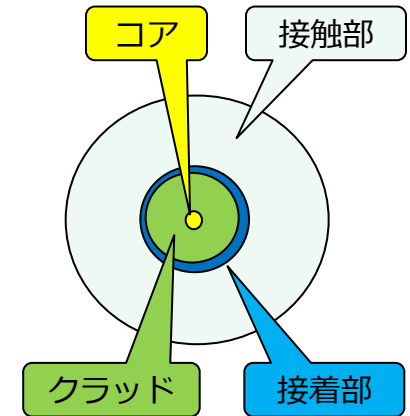
Base	Size (μm)	Defects	Defect Count	Area (μm²)	Scratch	Scratch Count
Core	25	FAIL	3	140.54	PASS	0
Cladding	120	FAIL	40	507.32	PASS	0
Adhesive	130	PASS	0	0.00	PASS	0
Contact	250	FAIL	271	6207.53	PASS	3

ネットワーク マスタ MT1000A/MT1100A シリーズ測定例 (2/4)



測定の流れ

ライブスクリーンの状態でフォーカスを調整します。
スタートボタンを押すと解析が始まります。

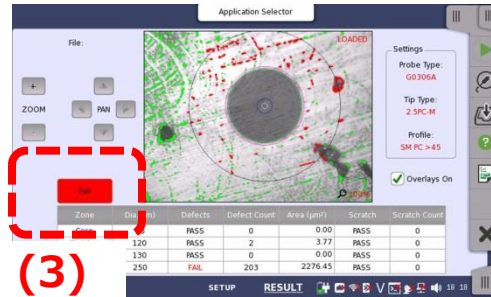


解析が終了すると、

- Core (コア)
- Cladding (クラッド)
- Adhesive (接着部)
- Contact (他コネクタとの接触部)

およびTotalのエリアでそれぞれ合格/不合格判定結果を表示

ネットワーク マスタ MT1000A/MT1100A シリーズ測定例 (3/4)



不合格

Table画面からは、ファイバ端面の“汚れ”と“キズ”の状態をそれぞれ判別

- (1) 各エリアの欠陥
(主に汚れや小さな傷)の状況
- (2) 各エリアのキズの状況
- (3) (1)と(2)を総合した各エリアの判定結果

領域名	直径(μm)	欠陥	欠陥数	エリア (μm ²)	傷	傷の数
Core	25	合格	0	0.00	合格	0
Cladding	120	不合格	7	21.94	合格	0
Adhesive	130	合格	0	0.00	合格	0
Contact	250	合格	0	0.00	合格	0

(1)

(2)

合格

領域名	直径(μm)	欠陥	欠陥数	エリア (μm ²)	傷	傷の数
Core	25	PASS	0	0.00	PASS	0
Cladding	120	PASS	0	0.00	PASS	0
Adhesive	130	PASS	0	0.00	PASS	0
Contact	250	PASS	0	0.00	PASS	0

合格/不合格の判定は、IEC61300-3-35の規格に沿って自動判定されます。

ネットワーク マスタ MT1000A/MT1100A シリーズ測定例 (4/4)

測定結果の保存

測定結果は、下記のいずれかで管理できます。

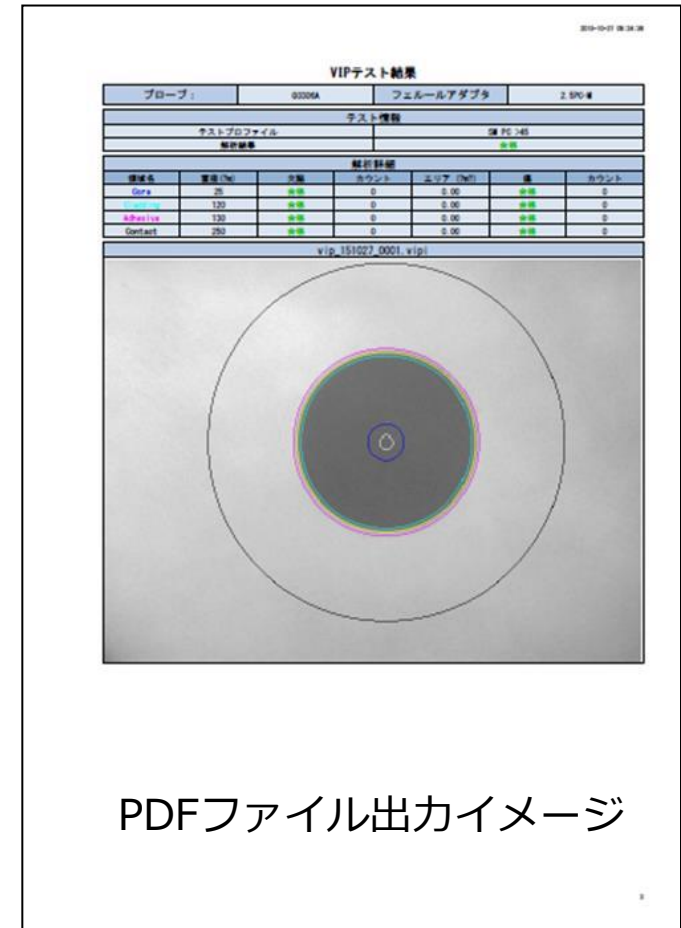
<ファイルの保存>

- 画面ハードコピー (PNG形式)
- VIPデータファイル (.vipi拡張子ファイル)

<ファイルの読み込み>

- PNG形式ファイル
- VIPデータファイル (.vipi拡張子ファイル)

その他、実機上でPDFレポートの作成が可能です。



アクセススタ MT9082x2シリーズ 測定例 (1/4)



①ファイバスコープのUSB端子をMT9082シリーズのUSBポートに接続

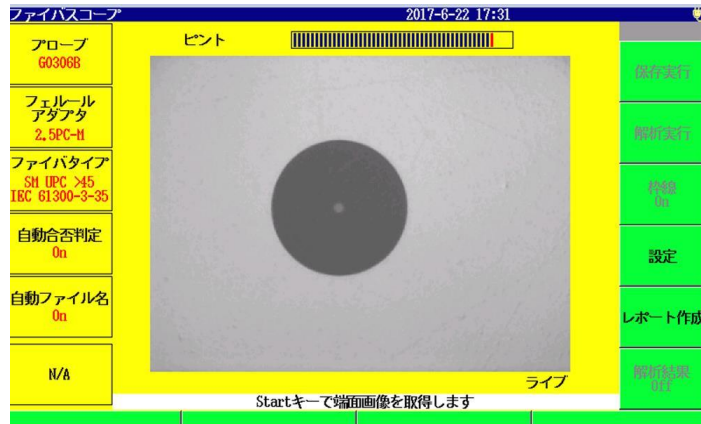
②電源を入れます。トップメニューの画面から「ファイバスコープ」を選択してください。

※事前に、接続するコネクタアダプタやフェルルタイプに応じたチップを選択してください。

アクセスマスタ MT9082x2シリーズ 測定例 (2/4)

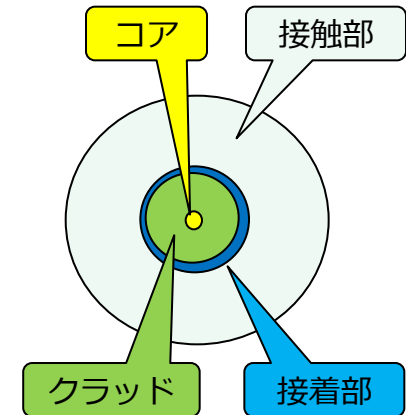
NEW!

合格/不合格判定



測定の流れ

ライブスクリーンの状態でフォーカスを調整します。
ハードキーのスタートボタンを押すと解析が始まります。



解析が終了すると、

- Core (コア)
- Cladding (クラッド)
- Adhesive (接着部)
- Contact (他コネクタとの接触部)

およびTotalのエリアでそれぞれPass/Fail判定結果を表示

アクセスマスタ MT9082x2シリーズ 測定例 (3/4)

NEW!

合格/不合格判定



不合格

Table画面からは、ファイバ端面の“汚れ”と“キズ”の状態をそれぞれ判別

- (1) 各エリアの欠陥
(主に汚れや小さな傷)の状況
- (2) 各エリアのキズの状況
- (3) (1)と(2)を総合した各エリアの判定結果

領域名	直径(u)	解析結果	欠陥数	面積(u2)	傷	欠陥数
Core	25	合格	0	0.00	合格	0
Cladding	120	不合格	3	31.88	合格	0
Adhesive	130	合格	0	0.00	合格	0
Contact	250	不合格	68	1207.98	合格	0

(1)

(2)

合格

領域名	直径(u)	解析結果	欠陥数	面積(u2)	傷	欠陥数
Core	25	合格	0	0.00	合格	0
Cladding	120	合格	0	0.00	合格	0
Adhesive	130	合格	0	0.00	合格	0
Contact	250	合格	0	0.00	合格	0

合格/不合格の判定は、IEC61300-3-35の規格に沿って自動判定されます。

アクセスマスタ MT9082x2シリーズ 測定例 (4/4)

NEW!
PDFレポート

測定結果の保存

測定結果は、下記のいずれかで管理できます。

<ファイルの保存>

- 画面ハードコピー (PNG形式)
- VIPデータファイル (.vipi拡張子ファイル)

<ファイルの読み込み>

- PNG形式ファイル
- VIPデータファイル (.vipi拡張子ファイル)

その他、実機上でPDFレポートの作成が可能です。

Anritsu 2017-06-22 17:06:47

ファイバースコープ報告書

ヘッダー情報

顧客	Anritsu
場所	Atsugi
作業員	Anritsu
コメント	Fiber

結果

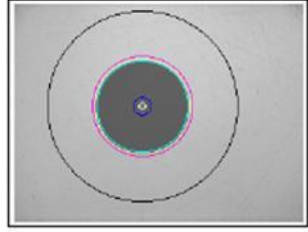
ファイル名	vip0001-1.png
プローブ	6030GB
フェルールアダプタ	2.5PC-8
ファイバタイプ	SM UPC >45 (IEC 61300-3-35 ed1.0)
測定の実行時刻	2017-06-22 16:56:58

検査判定

合格

詳細結果

領域名	厚み (μ)	解析結果	欠陥数	広さ (μ2)	傷	欠陥数
Core	25	合格	0	0.00	合格	0
Cladding	120	合格	0	0.00	合格	0
Adhesive	130	合格	0	0.00	合格	0
Contact	250	合格	0	0.00	合格	0



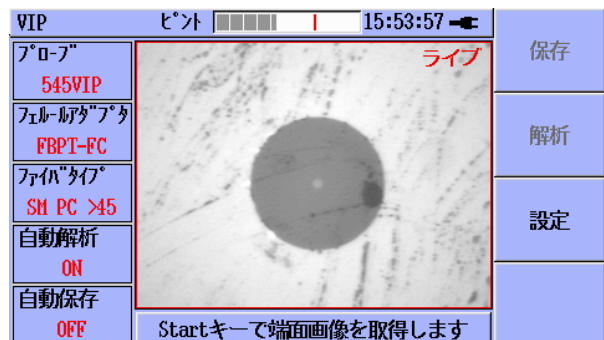
1

PDFファイル出カイメージ

ファイバメンテナンステスタ MT9090Aシリーズ (MU909014/15) 測定例 (1/4)

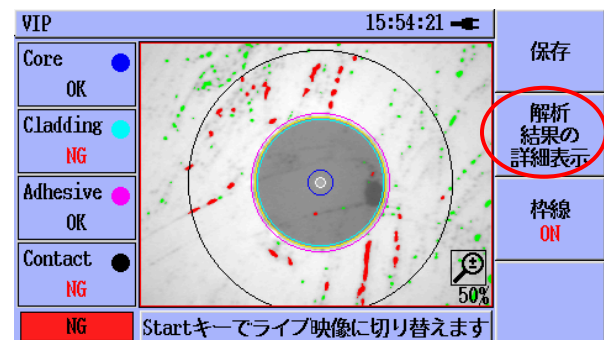
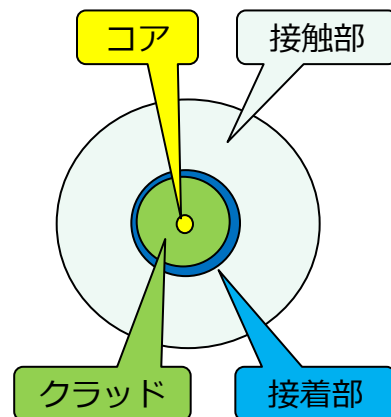


ファイバメンテナンスステスタ MT9090Aシリーズ (MU909014/15) 測定例 (2/4)



測定の流れ

Live画面上でフォーカスを調整し、
スタート  ボタンで解析開始



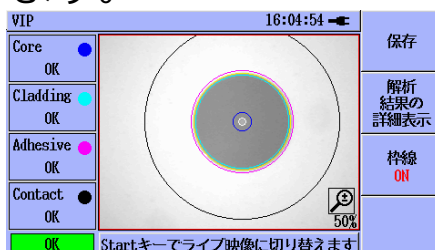
解析が終了すると、

- Core (コア)
- Cladding (クラッド)
- Adhesive (接着部)
- Contact (他コネクタとの接触部)

およびTotalのエリアでそれぞれ合格/不合格判定結果を表示



F2キーで詳細画面(Table)と、イメージ画面と切替ができます。



ファイバメンテナンスステスタ MT9090Aシリーズ (MU909014/15) 測定例 (3/4)

VIP		15:54:52	
領域名	直径(μ)	解析結果	
1 Core	25	OK	
2 Cladding	120	NG	
3 Adhesive	130	OK	
4 Contact	250	NG	
欠陥	欠陥数	面積(μ^2)	傷
1 OK	0	0.00	OK
2 NG	5	23.44	OK
3 OK	0	0.00	OK
4 NG	84	1158.08	OK
NG		(1)	でライブ映像に (2) えます

保存
(3) 像
の表示

Table画面からは、ファイバ端面の
“汚れ” と “キズ” の状態をそれぞれ
判別

- (1) 各エリアの欠陥
(主に汚れや小さな傷) の状況
- (2) 各エリアのキズの状況
- (3) (1) と (2) を総合した各エリアの
判定結果

VIP		16:05:00	
領域名	直径(μ)	解析結果	
1 Core	25	OK	
2 Cladding	120	OK	
3 Adhesive	130	OK	
4 Contact	250	OK	
欠陥	欠陥数	面積(μ^2)	傷
1 OK	0	0.00	OK
2 OK	0	0.00	OK
3 OK	0	0.00	OK
4 OK	0	0.00	OK
OK		Startキーでライブ映像に切り替えます	

保存
解析画像
の表示

枠線
ON

合格/不合格の判定は、IEC61300-3-35
の規格に沿って自動判定されます。

ファイバメンテナンスステスタ MT9090Aシリーズ (MU909014/15) 測定例 (4/4)

測定結果の保存

測定結果は、下記のいずれかで管理できます。

<ファイルの保存>

- 画面ハードコピー (PNG形式)
- VIPデータファイル (.vipi拡張子ファイル)

<ファイルの読み込み>

- PNG形式ファイル
- VIPデータファイル (.vipi拡張子ファイル)

その他、実機上でPDFレポートの作成が可能です。

Anritsu2012-12-17 17:53:06

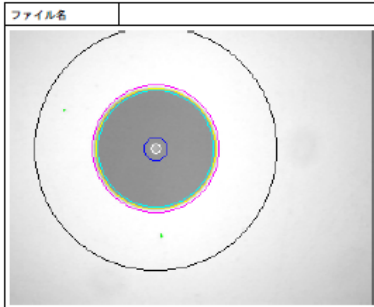
解析結果

プローブ	545VIP	フェルールアダプタ	FBPT-FC
結果			
ファイバタイプ	SM PC >45		
合否判定	OK		

詳細結果

領域名	直径(μ)	欠陥	欠陥数	面積(μ2)	備	欠陥数
Core	25	OK	0	0.00	OK	0
Cladding	120	OK	0	0.00	OK	0
Adhesive	130	OK	0	0.00	OK	0
Contact	250	OK	2	12.06	OK	0

ファイル名



画面の保存時刻2012-12-17 17:52:22

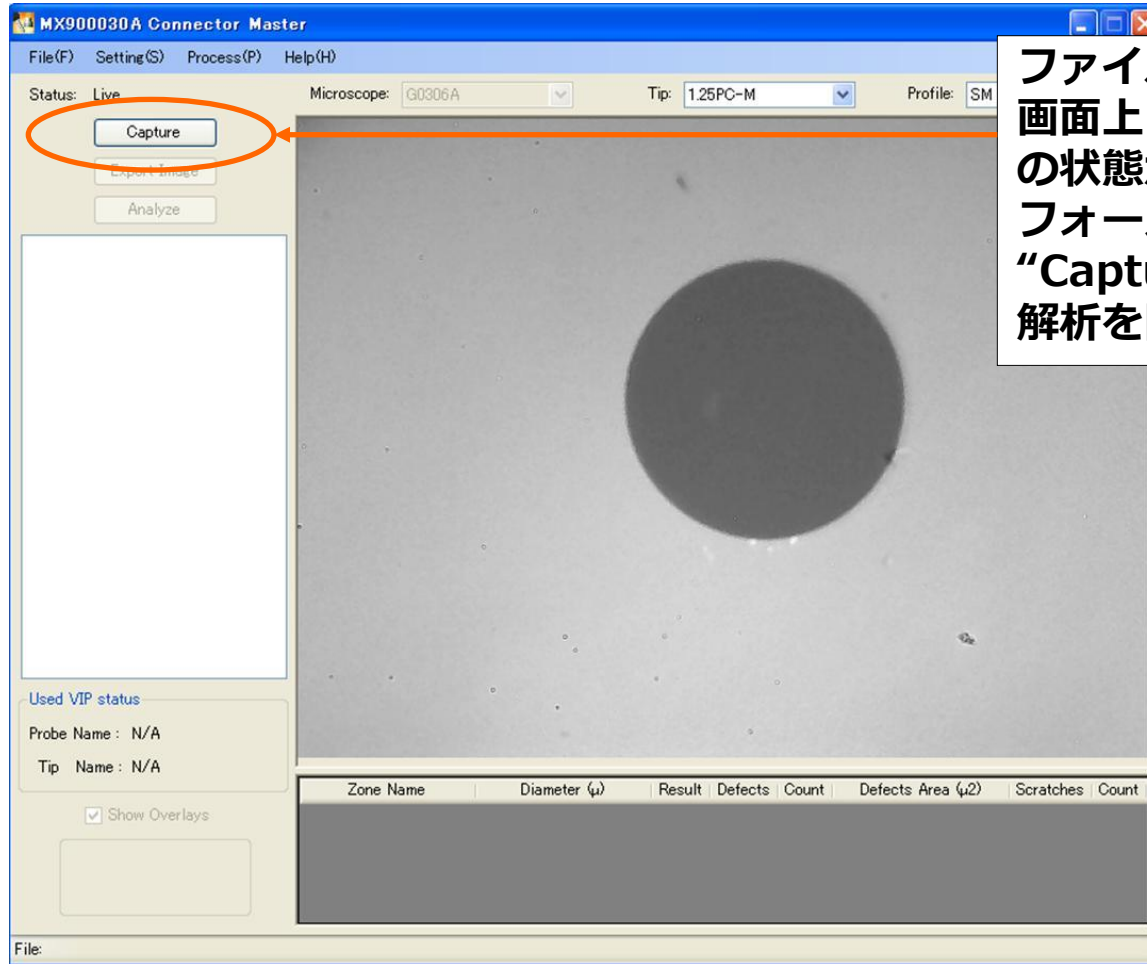
PDFファイル出カイメージ

2

Windows PC 測定例 (1/3)



Windows PC 測定例 (2/3)



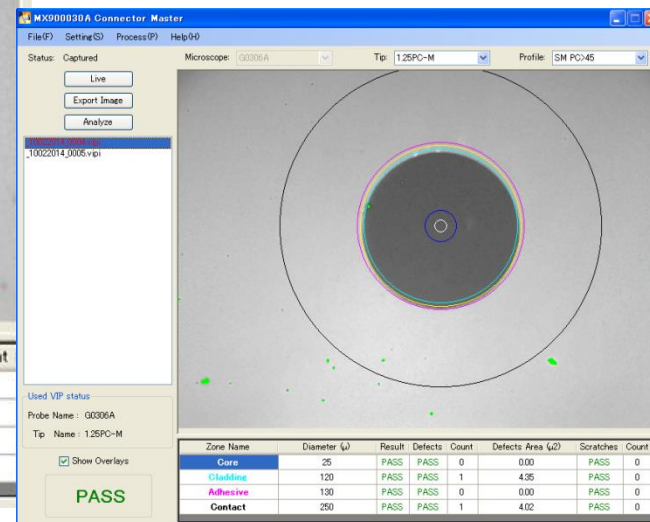
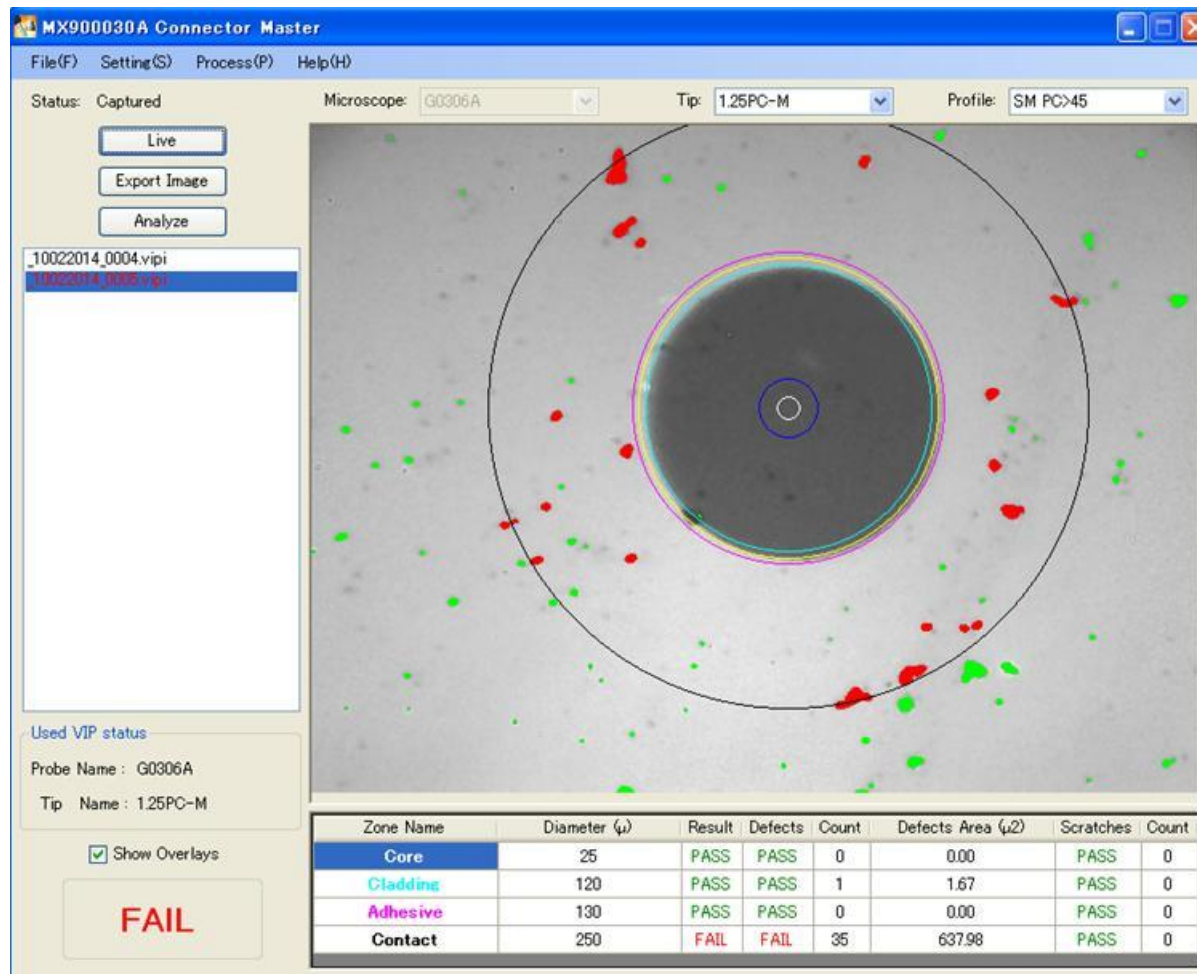
ファイバコープを接続すると、画面上に接続したファイバ端面の状態が表示されます。フォーカスを調整した後に“Capture” ボタンを押すと、解析を開始します。

Windows PC 測定例 (3/3)

合格/不合格判定を実施

解析が終了すると、

- Core (コア)
- Cladding (クラッド)
- Adhesive (接着部)
- Contact (他コネクタとの接触部)およびTotalのエリアでそれぞれPass/Fail判定結果を表示します。



オーダリングインフォメーション

形名・記号			
G0306B		400倍ファイバスコープ	
- 標準添付品 -		取扱説明書(紙) スタンダードソフトケース 交換用コネクタチップ(7種) - 1.25mm PC ユニバーサル、 - 2.5mm PC ユニバーサル - 2.5mm APC ユニバーサル、 - 1.25mm PC バルク型(LC) - 2.5mm PC バルク型(FC)、 - 2.5mm PC バルク型(SC) - 2.5mm APC バルク型(SC)	
応用部品			
形名・記号		形名・記号	
H0360A	2.5PC-M	H0366A	SC-APC-F
H0361A	1.25PC-M	H0372A	E2000-PC-F
H0362A	2.5APC-M	H0373A	FC-APC-F
H0363A	LC-PC-F	H0374A	MU-PC-F
H0364A	FC-PC-F	H0375A	ST-PC-F
H0365A	SC-PC-F	H0376A	1.25APC-M
		H0380A	LC65-PC-F

400倍ファイバスコープ G0306B サポート機種

- ネットワークマスタプロ/フレックス MT1000A/MT1100A
- アクセスマスタ MT9082x2シリーズ
- ネットワークマスタ MT9090Aシリーズ (MU909014/15: ファイバメンテナンススタ)
- Windows XP、Windows7(32bit, 64bit)、Windows8(32bit, 64bit)対応PC
(PCの解析にはMX900030Aソフトウェアのインストールが必要です。)

